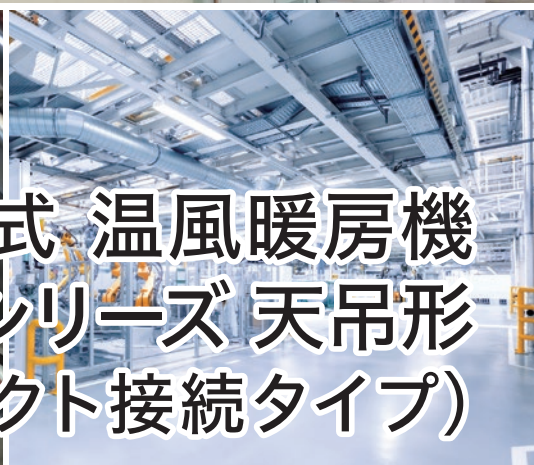




MHF0460GHT



FF式 温風暖房機
新シリーズ 天吊形
(ダクト接続タイプ)

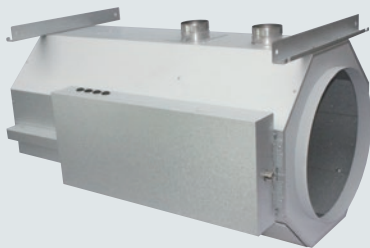
MOVE THE WORLD FORWARD MITSUBISHI
HEAVY
INDUSTRIES
GROUP

ペリメーターゾーン暖房で素早 エアカーテン効果で効率的に

窓際や壁際などで外光や外気に温度が影響されやすいペリメーターゾーン。

室内環境温度の改善を図りたい、速暖性の高い暖房機が欲しい、そんなご要望にお応えします。

本体及び別売品



MHF0460GHT



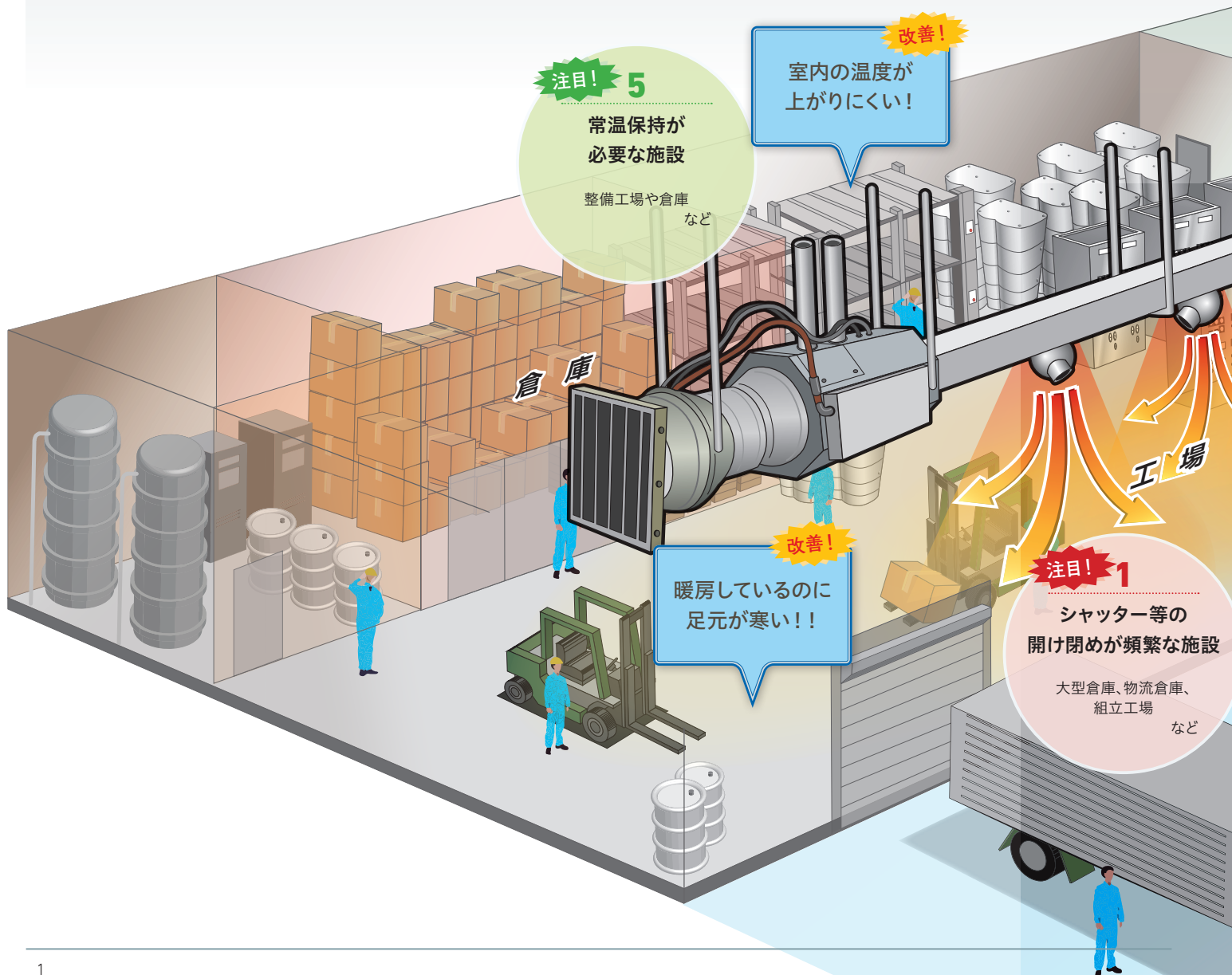
リモコンスイッチ RS-5



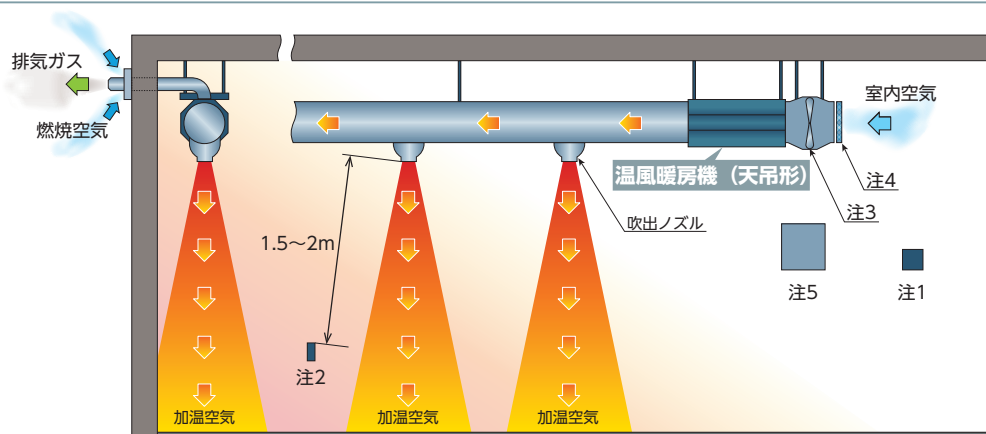
対流ファン操作盤



対流ファン



く快適！ 温めます



○オプション品

注1) リモコンスイッチ

注2) 温度検知器 (温度制御用サーミスタボックス)

注3) 対流ファンJF-500TA (三菱電機製軸流ファン)

注4) 同上用エアフィルタセット

注5) 同上用対流ファン制御盤

※別売品の対流ファンについては、P.4の「昇温温度と機内抵抗」で示される使用範囲内でご使用ください。
なお、使用範囲外の場合は、その範囲に応じて、お客様で対流ファンを手配してください。



高い吹き出し温度で足元を速暖、省エネ

“快適”を支える 3つのポイント

ポイント 1

ペリメーターゾーンの 暖房効果向上

従来機よりも高い吹き出し温度で 効果向上

- 壁際を暖房することで、体感温度の低下を緩和。
- 従来機よりも高い吹き出し温度（従来機の Δt 40degに対し本製品は Δt 55deg）。
- 低めの設定温度で省エネ効果。

ポイント 2

天吊形、壁掛形

天井面や壁面の スペースを有効活用

- 天吊形や壁掛形にすることで従来形とは異なり、床面を有効活用できます。

ポイント 3

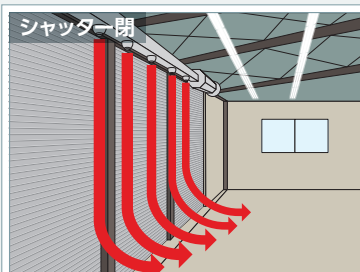
燃焼方式FFタイプ

煙突工事が不要！

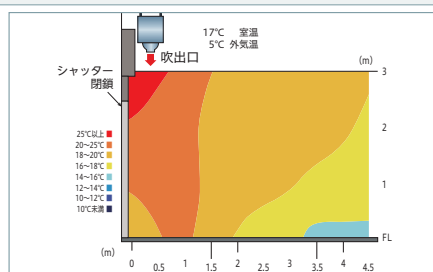
- 専用の給排気筒により工事が容易。
- 燃焼空気を外から取り入れ、燃焼した空気は屋外に排出するので、室内の空気を汚しません。

■ 設置例

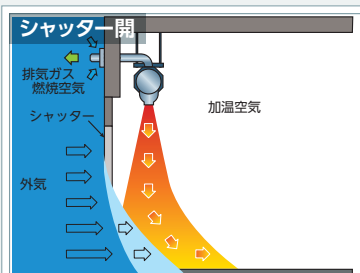
● ペリメーターゾーン暖房（イメージ）



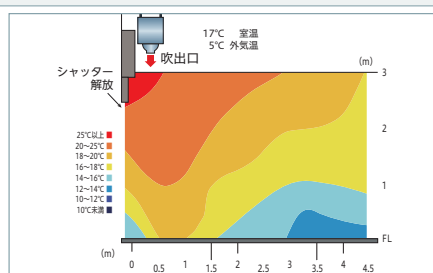
シャッター【閉】イメージ



シャッター【閉】温度分布

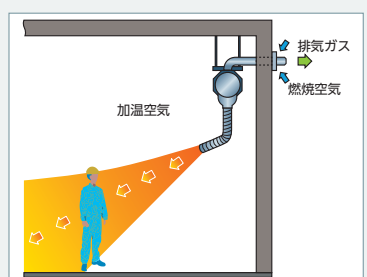


シャッター【開】イメージ



シャッター【開】温度分布

● スポット暖房



【設置例】

シャッター上部に本製品を設置した一例です。冬場の工場、整備場などでは、シャッターが開いたときは冷気が足元から侵入してきます。この製品は、シャッターが閉まっているときは通常の暖房として使用し、シャッターが開いたときは冷気の侵入を緩和することができます。

（シャッター“閉”）

シャッターが閉まっているときは、通常の暖房として使用しています。左図が設置状況、右図が温度分布ですが、足元まで温風が行き届いているのがわかります。

（シャッター“開”）

左図はシャッターが開いたときの冷風の流れ込みイメージです。

冷気は足元から床を走るように侵入してきます。それを本製品から吹き出す温風で上からある程度抑え込みます。右図は実際にシャッターが開いたときの温度分布です。温風を上から吹き付けることで冷気の侵入を緩和させているのがわかります。

※本例は、「通常暖房+冷気侵入の緩和」を目的としています。冷気の侵入を完全に防ぐには相当な風速が必要となります。その場合、ドラフトを常に感じるため不快感が増します。

【設置例】

（定位置作業）

生産ラインなどで定位置作業が多い場合、そこを集中的に暖房することで効率の良い暖房効果が得られます。また、作業場所をゾーニングして暖房することも可能です。

（車の整備場など）

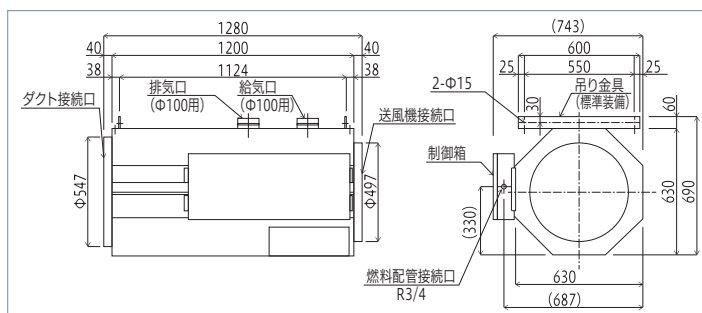
車のボンネット側を足元から暖房することでスポット的に暖房します。シャッター側から冷気が入り込んでも、スポット暖房のおかげで作業場所付近の寒さは緩和されます。

効果も期待できます

仕様

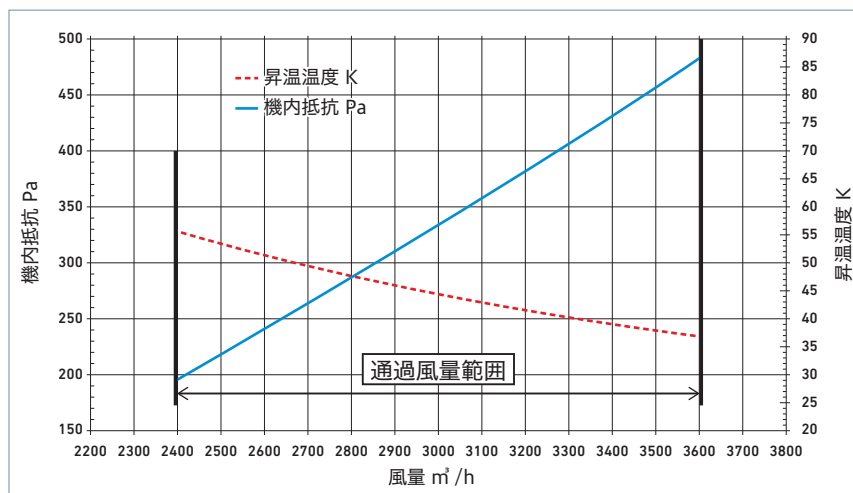
項目	単位	型式	MHF0460GHT※
有効発熱量	kW		46.5
電源			単相100V 50/60Hz
使用燃料			13AまたはLPG
燃料消費量	kW		52.0
燃焼方式			先混合 Hi/Lo 二段制御
外形寸法	高さ	mm	690
	幅	mm	1,280
	奥行	mm	743
定格消費電力	W		65
定格運転電流	A		0.94
製品質量	kg		78

外形図



※本製品は、左仕様、右仕様がございます。ご注文時にご指示ください。(制御箱を正面として、左吹出仕様:MHF0460GHT-L、右吹出仕様:MHF0460GHT-R)

昇温温度と機内抵抗



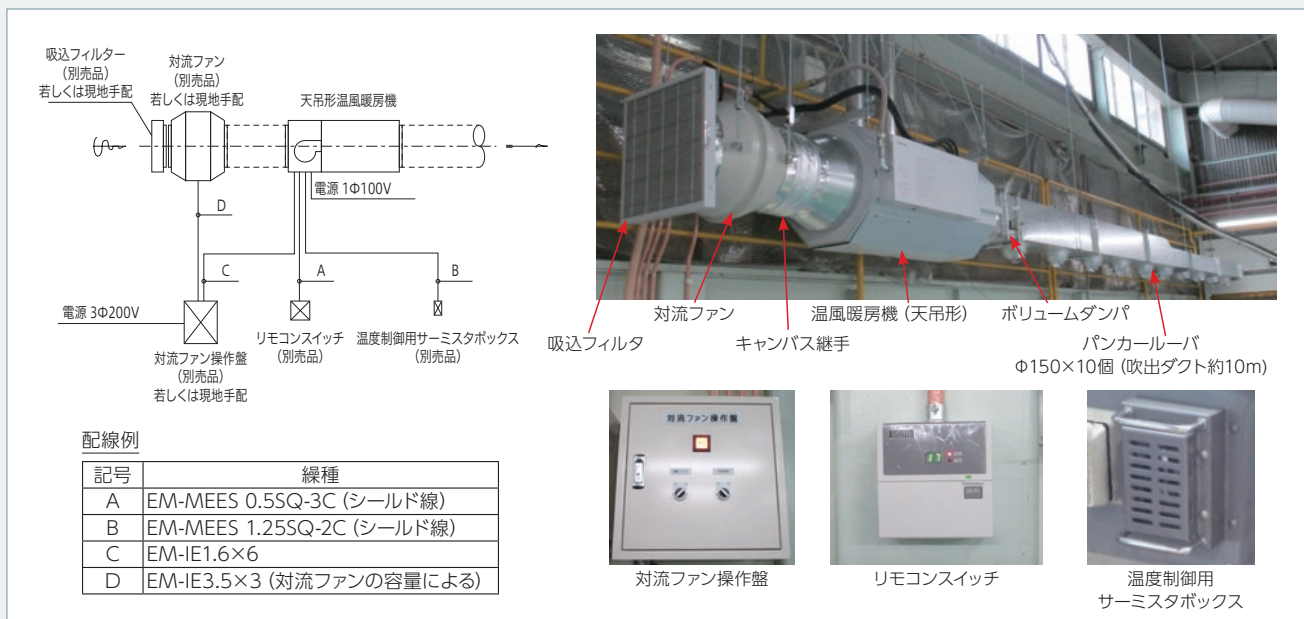
※本製品は対流ファンを装備していません。通過風量は2,400～3,600m³/hの範囲とし、左図を参照し選定を行ってください。

※ダクト設計を行い、施工後は所定風量が確保されていることを確認してください。風量不足は燃焼炉の過熱に繋がり、製品寿命に悪影響を与えます。

通過風量 (m³/h)	2400	2600	2800	3000	3200	3400	3600
機内抵抗 (Pa)	196	240	287	334	382	432	482
昇温温度 (K)	55	51	47	44	41	39	37

配線系統図

下図に簡単な配線系統図を示します。詳細は、仕様書等でご確認ください。



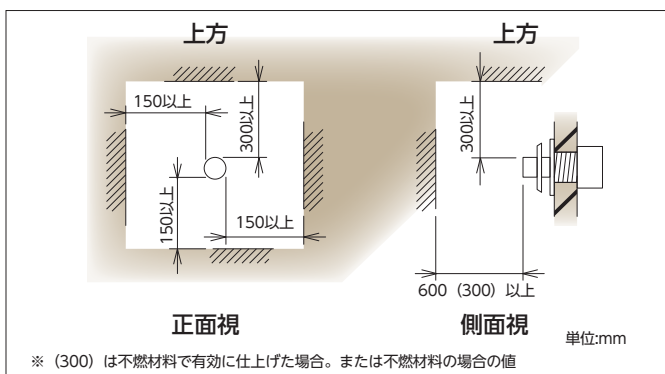
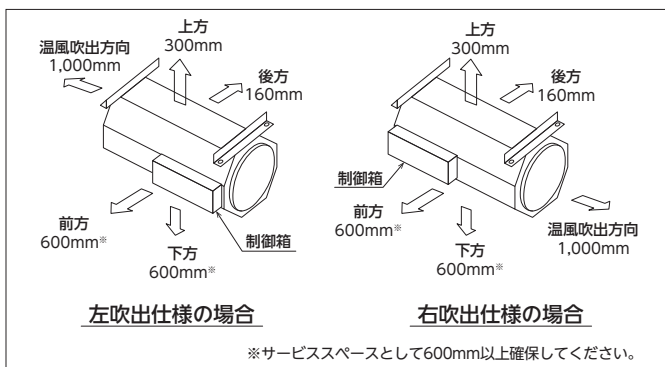
設置工事における注意点

据付要領

● 周囲構造物との離隔距離

火災予防上所定の距離が十分に取れる場所に設置してください。防火構造の構造物であっても、暖房機や給排気筒等の点検、手入れ等が容易に可能なサービススペースが必要です。火災予防上安全な距離およびサービススペースを確保するために、最小限下图に示す距離を確保してください。

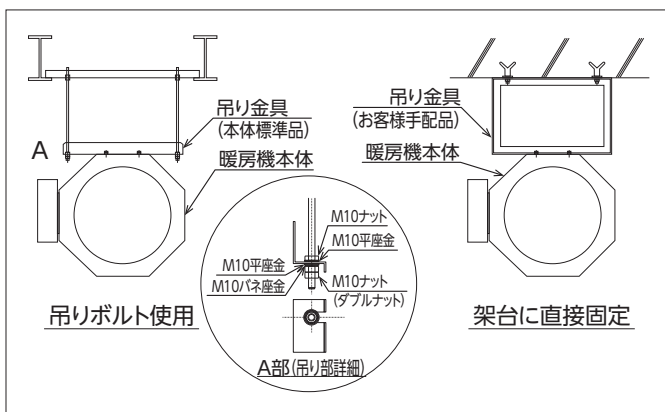
※給気筒、排気筒の離隔距離は、据付工事要領書をご確認ください。



● 暖房機の据付

本体標準品の吊り金具またはお客様手配品の据付架台にて本体を据え付けてください。

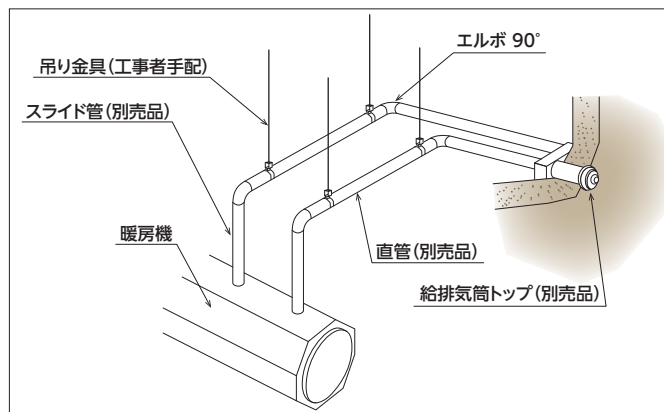
暖房機の架台は、十分な強度を有する構造物（壁面、天井面等）に固定してください。アンカーボルトは暖房機や架台の重量及び振動等に十分に耐えるものを選んでください。下图はその一例を示します。



給排気筒の取付要領

※必ず給排気筒を設けて、排気ガスは屋外に排出してください。

- 別売品の弊社純正給排気筒をお買い求めの上、正しく接続してください。
純正品以外を使用すると、規定の性能が確保されないばかりではなく、故障や重大事故の原因となります。また、保証の対象外となりますので、必ず弊社純正給排気筒をご使用ください。
- 給排気筒は燃烧空気を屋外から取り入れ、排気ガスを屋外に排出する役割をするだけでなく、燃烧室の圧力のバランスをとる役割もあり、燃烧上極めて重要な働きをします。誤った取付は燃烧不良や火災等の原因になりますのでご注意ください。
- 暖房機1台につき1つの給排気筒設備を設けることを原則とします。この場合、給排気筒の最大延長は10m5曲がりまでです。これを超えて使用すると異常燃烧の原因になります。
10m5曲がり以上の給排気筒設備を設ける場合や、複数の暖房機を一本の集合給排気筒設備とする場合は、別途ご相談ください。
- 自重および振動等に十分に耐えられるよう、固定金具を用いて給排気筒設備を固定してください。
- 破損するような外力が作用する場所を避けて設置してください。
- 横引き部の勾配は先下がりとし、ドレンを屋外に導くように設置してください。
- 給排気筒トップの壁貫通部は、給排気筒トップと壁との間に排気ガスが屋内に流れ込む隙間がないように施工してください。
- 給排気筒には防火ダンパなどを取り付けしないでください。給排気筒を閉塞すると重大事故につながります。



吹出ダクトの接続

ダクトの接続にあたっては、以下の事項に注意してください。

- ダクト接続口はOD547です。
- 予めダクト設計を行い、施工後は所定風量が確保されていることを確認してください。風量不足は燃焼炉の過熱に繋がり、製品寿命に影響を与えます。

ガス配管接続

燃料配管接続にあたっては、以下の事項に注意してください。

- ガス配管の総延長はできるだけ短くなるように施工してください。
- 暖房機にガス配管の荷重がかからないように適切な位置で支えて固定してください。
- 寒冷地ではLPガスは容易に気化しません。この場合、ベーパーライザ等を設置してください。
- 暖房機の近くに必ずガスの元栓を設けてください。
- ガス配管終了後、ガス漏れのないことを確認してください。

電気接続

電気接続にあたっては、以下の事項に注意してください。

- 電気工事は、電気工事の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付工事要領書に従って施工し、必ず専用回路を設けてください。電源回路容量不足や施工不備があると火災、感電の原因になります。
- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定が不完全な場合は、火災などの原因になります。また、配線作業を行う場合は必ず電源を切ってから行ってください。
- 法律によるD種接地工事が必要です。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。

別売品

- リモコンスイッチ RS-5



- 温度制御用サーミスタボックス



形 式	名 称
B57520	温度制御用サーミスタボックス

- 対流ファン操作盤



(受注生産)

形 式	名 称
GHCP040	対流ファン操作盤(0.4kW)
GHCP075	対流ファン操作盤(0.75kW)
GHCP150	対流ファン操作盤(1.5kW)
GHCP220	対流ファン操作盤(2.2kW)
GHCP370	対流ファン操作盤(3.7kW)

- 給排気トップ



形 式	名 称
B57532	給排気トップ(壁厚150~250mm用)

- 直管



形 式	名 称
B57524	直管 300L
B57525	直管 600L
B57526	直管 900L

- スライド管



形 式	名 称
B57529	スライド管 200型(180~270L)
B57530	スライド管 300型(250~420L)
B57531	スライド管 500型(405~720L)

- エルボ



形 式	名 称
B57527	エルボ 45°
B57528	エルボ 90°

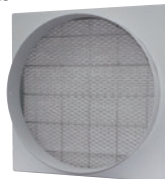
- 対流ファン



(受注生産)

形 式	名 称
F55801	対流ファン(1.5kW) (50Hz用)
F55901	対流ファン(0.75kW) (60Hz用)

- 対流ファン用フィルタセット



(受注生産)

形 式	名 称
F25801	F55801用フィルタセット
F25901	F55901用フィルタセット
F55802	対流ファン用フィルタ(単品)

届出について

本製品を設置するにあたっては、「火を使用する設備等の設置届出書」の届出が必要です。また、燃料貯蔵に関する届出が必要となる場合があります。届出に関しては、所轄消防署へご確認ください。

定期保守管理契約のおすすめ

FF式温風暖房機は日常の点検、整備、掃除等の保守管理が性能の維持や耐用年数に少なからず影響します。また、故障の予防保全の見地からも点検、整備や装備されている部品の取替えを必要とする場合があります。この様なことから、弊社では定期保守管理契約制度を設けて、専門の技術員が年数回の巡回サービスを行う体制を整えております。少しでも長く安心してお使いいただくために、是非この定期契約にご加入ください。

安全に関するご注意

使用対象についてのご注意

- このカタログに記載の暖房機は対人専用の暖房機です。温室、温（冷）蔵庫、乾燥用、調理用などの特殊用途や人のいない場所では使用しないでください。

据付・設置に際してのご注意

- 本体及び周辺機器の据付に際しては「工事要領書」に従い、販売店または専門業者に工事を依頼してください。
- 別売品に関しては、必ず当社指定の製品を使用してください。また、別売品の取り付けについても販売店または専門業者に依頼してください。
- 本体の設置については、修理・点検のしやすい場所にしてください。
- 関連法規（大気汚染防止法、建築基準法、火災予防条例等）を遵守してください。
- 設置後の試運転調整は専門業者に依頼してください。

据付場所に関してのご注意

- 次のような場所では耐用年数が著しく短くなると共に、故障や事故の原因となり保証範囲の対象外となりますので、設置及び使用はしないでください。
 - ・海浜地区などの塩害や腐食の恐れがある場所
 - ・温泉地帯など硫化ガスの発生する場所
 - ・揮発性化粧品及びアンモニア、塩素、硫黄、酸類など腐食性ガスの発生する場所（理美容院、クリーニング店、水産工場、薬品工場、動物園、水族館、プール等）
 - ・大量の粉塵、オイルミストの発生する場所
 - ・車輛・船舶への搭載
 - ・温度や湿度の高い場所
 - ・周囲に引火物や可燃物のある場所

- 標高1,000m以下でご使用ください。それを超えて使用すると空気不足となり、不完全燃焼の原因となります。

機器のご使用に際して

- ご使用の前に必ず「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 本体内部に異物を入れないでください。故障や漏電、火災、ケガの原因となります。
- 温風吹出し口や給排気経路をふさがないでください。
- 給排気筒やガス配管は外れや閉塞、漏れがないかを定期的に点検してください。
- スプレー缶や引火物を熱気や温風の当たる所に放置しないでください。熱による爆発や火災の原因となり大変危険です。
- 銘板に記載された指定の燃料（ガス燃料の種類）を使用してください。また、種類の異なるガス等は使用しないでください。
- 機器に異常が発生した場合は事故防止のため、直ちに電源を切り必ず販売店に連絡してください。

保守・点検についてのご注意

- 本体、別売品の分解や不完全な修理、改造は危険ですのでお止めください。
- 長期間使用しない場合は、必ず燃料系統のバルブ・コックを閉め、プラグを抜くか、電源開閉器を切ってください。
- 長期間使用しなかった場合は、運転前に付着したほこりを取り除き、燃料配管や給排気筒に外れがないか確認の上ご使用ください。
- 機器や燃料配管のメンテナンスには専門技術が必要です。保守メンテナンス契約（有料）をお薦めします。販売店にご相談ください。



当社大和工場、東京支店工務部、中部支店営業部は、ISO（国際標準化機構）の要求に適合するとして、品質マネジメントシステムに関するISO9001認証取得をしております。



当社大和・近畿・東横谷・埼玉工場は、ISO（国際標準化機構）の要求に適合するとして、環境マネジメントシステムに関するISO14001の認証取得をしております。

ISO認証制度

ISO（国際標準化機構）によって制定された国際的な規格。●ISO9001は、商品の「設計、開発、製造、据付及び付帯サービス」についての品質マネジメントシステムを認証するもの。●ISO14001は、製品及びそれらの事業活動における環境保全活動を認証するもの。

お問い合わせは下記へどうぞ。

三菱重工冷熱株式会社

〒108-0023 東京都港区芝浦2-11-5

特販 2 課	〒 108-0023	東京都港区芝浦 2-11-5	TEL. 03-6891-4461
北海道支社	〒 003-0011	北海道札幌市白石区中央 1 条 7-10-31	TEL. 011-846-1271
東北支社	〒 983-0036	宮城県仙台市宮城野区苦竹 2-7-20	TEL. 022-783-9385
関東支店	〒 144-0033	東京都大田区東横谷 4-6-32	TEL. 03-5735-7645
中部支社	〒 452-0064	愛知県清須市西枇杷島町旭 3-1	TEL. 052-503-9141
近畿支社	〒 532-0034	大阪府大阪市淀川区野中北 1-5-21	TEL. 06-6391-1115
中四国支社	〒 733-0036	広島県広島市西区観音新町 1-20-24	TEL. 082-503-2311
九州支社	〒 812-0004	福岡県福岡市博多区榎田 1-3-62	三菱重工福岡ビル 5F TEL. 092-412-8961

北海道地区代理店	ダイヤ冷暖工業株式会社	〒 005-0003 北海道札幌市南区澄川三条 1-9-28 TEL. 011-823-0001
沖縄地区代理店	株式会社東洋設備	〒 900-0005 沖縄県那覇市宇天久 1122 TEL. 098-868-6831

サービスフロントセンター（修理受付、部品、技術相談）



0120-975-365

キョウナゴヨウモ365ニチタイオウ

三菱重工サーマルシステムズ(株)・ホームページ <https://www.mhi-mth.co.jp>

三菱重工冷熱株式会社・ホームページ <https://www.mhi-air.co.jp>

24時間webサービス受付 https://ssl.mhi-air.co.jp/app/contact/?form_number=3

三菱重工サーマルシステムズ株式会社

三菱重工工業株式会社100%出資会社

〒100-8332
東京都千代田区丸の内三丁目2番3号 丸の内二重橋ビル

- 製品の仕様は改良等、必要に応じて予告なしに変更することがあります。
- 製品の色は印刷上、実物と多少異なる場合があります。
- ご購入の際は、必ず保証書をお受け取りください。
- このカタログは2025年4月現在のものです。

信頼あるみなさまの販売店